

町政執行方針

平成23年第1回町議会定例会の3月3日、伊藤町長が町政執行方針、星教育長が教育行政執行方針をそれぞれ表明し、議会や町民に理解と協力を求めました。
以下、執行方針及び主要施策の内容をお知らせします。



町長 伊藤 昭 宣

平成23年第1回町議会定例会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申しあげ、議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。
世界同時不況以来、世界経済は、新興国の経済発展とその堅調な消費拡大を受け、先進各国においてもこれを足がかりとして景気回復を図ろうとしているところでありますが、日本国内では「緩やかな改善に向かっていく」との景気観測があるものの、その手心えは実感できるものではない

く、未だ雇用環境や家計への不況の影は、覆い被さったままでありませぬ。

このような中、政府は昨年末に補正予算を組み、地方交付税の増額や地域活性化交付金事業による「緊急総合経済対策」を実施し、円高・デフレ対策を講じるとともに、新年度予算では92兆4千億と過去最大となったものの、歳入では44兆3千億を国債発行に頼り、歳出では借金の返済に21兆5千億が投入されるものであり、国家財政はまさに非常事態といえる状況であります。

和寒町においては、これまで第4次総合計画に基づき、生活環境の整備や産業振興など各施策に取り組んできたところでありませぬが、平成23年度からは第5次総合計画を町政の指針とし、「人の和ひろがる恵みの大地わっさむ」を基本テーマに掲げ、子育て支援や安心のできる生活環境の充実、担い手対策や産業振

興、地域資源の有効活用や豊かな心を育む教育の推進、町民参画による協働のまちづくりなど重点プロジェクトを推進し、元気で活力のある、住み心地の良いまちづくりを目指して、町政の執行にあたる所存であります。

重点方針

その初年度となりますが、平成23年度の予算編成にあたり「活力ある地域産業の振興」「安全安心な社会環境の充実」「元気なまちを支える担い手の育成」「教育環境の充実と文化・スポーツの振興」の4つを方針として掲げました。

予算規模

一般会計36億2千250万円（対前年比0・35%増）となりませぬが、国の補正措置により、平成23年度に繰り越しされる事業を加味した実質的な一般会計予算は、37億980万円となったところでありませぬ。

特別会計は、国民健康保険特別会計5億9千370万円（対前年比7・67%減）、簡易水道事業特別会計7千413万円（対前年比16・45%減）、公共下水道事業特別会計1億4千298万円（対前年比5・91%増）、後期高齢者医療特別会計5千70万円（対前年比5・62%増）、介

護保険特別会計4億8千899万円（対前年比15・57%減）、町立病院事業会計5億4千20万5千円（対前年比38・65%減）となり、全会計の合計は、54億7千720万5千円となり、町立病院の改修事業の完了など金額にして4億4千849万3千円、率で7・57%減の予算になったところでありませぬ。

農業関係

昨年の高温・多雨の異常気象は、農作物の減収や品質低下を招き、二期続いたの農作物被害は、農業はもとより地域の経済に少なからず不安をもたらす結果となったことから、平成23年度予算においてもJA北びびきが取り組む農

業者への緊急支援資金の貸し付けに際し、町が利子の一部を助成することとし、また、景気活性化の一助となるようにとの思いからプレミアム付き「わっさむくらし応援商品券」を実施したところであり、基幹産業である農業が今年こそは豊穡の秋が迎えられますよう念願する次第であります。

農業者個別所得補償制度
食料自給率の向上と農業・農村の多面的機能を維持することを目的として、新たに畑作物も対象に本格導入される「農業者戸別所得補償制度」につきましては、昨年実施された米モデル事業の課題などから、農業者の努力が反映されるよう、品質や規模拡大、再生利用などの加算措置が盛り込まれ実施されますので、その事務に万全を期すとともに、関係者が一丸となって地域農業の方向付けを行っていくよう、行政と農業団体などが協力して推進する体制を構築してまいります。

なお、水田活用に加算された激減緩和調整枠は発展的に解消され、産地資金が創設されますが、現在のところ配分額としては、昨年の激減緩和調整枠より約3千万円多い、2億7千800万円余りとなる見込みであり、その活用方法について、地域水田農業推



進協議会での協議を踏まえ、農業者説明会を開催して周知をしたところであります。

中山間地域等直接支払交付金・農地・水・環境保全向上対策

中山間地域等直接支払制度は、条件不利地域における戸別所得補償制度の適切な補償となるよう拡充が図られたところであり、農業者への交付内容の一部を見直すなど、運営協議会とも内容を精査して引き続き支援してまいります。

また、「農地・水・環境保全向上対策」につきましても、平成23年度から制度の見直し・拡充が行われ、共同活動支援が「農地・水保全管理支払交付金」に、同じく営農活動支援が「環境保全型農業直接支援対策」へ移行致しますが、事業内容などについては、その詳細が明らかでないことから、従来の「農地・水・環境保全向上対策」の名称のまま、平成22年度実績と同額の予算を計上したところであります。

わっさむ元気づくり支援事業

また、基幹産業である農業を起点とした新たな付加価値と人材を生み出し、地域の雇用と所得を確保するため、住民自らの積極的なチャレンジを促すきっかけ及び地域活動

の母体づくりを仕掛けて、その取り組みを支援する「わっさむ元気づくり支援事業」を予算計上したところであります。



環太平洋経済連携協定 (TPP)

以上のように本年は、本町にとつて第3次和寒町農業・農村振興計画の初年度であるとともに、大きな農政の転換期であります。特に、昨管内閣が突如打ち出した、環太平洋経済連携協定（TPP）については、本町の基幹産業である農業に壊滅的な打撃を与え、地域の崩壊に繋がるもので、断固反対するものであります。まずやるべきことは、「強い農業」の構築であり、そのために、求められる情報収集に努めるとともに、農家経営の安定のために、農業委員会や各関係機関、農業者のご意見を尊重しながら、

農業の持続的な発展を期すべく努力してまいります。

農業活性化センター

農業活性化センター農想塾につきましても、農業者の力がたがたの要望や新たな作物の取り組みなど試験研究をしながら研修生の技術向上に努め、その研究結果を農家に情報提供して営農の参考にして頂くとともに、良質な農産物の生産に欠かすことのできるい土壌診断・食味分析も土づくり対策として継続してまいります。

担い手・後継者対策

次に担い手・後継者対策であります。農村生活体験事業につきましても、これまでに訪れた実習生のうち13名のかたが本町の後継者と結ばれるとともに、5名のかたが定住するなど、一定の事業効果をあげております。この2年間試行的に男性2名を受入れ、新規就農に結び付けるため取り組みましたものの、5ヶ月間の短期間では実現は難しいことから、従前の受入基準に変更することとして、今後受入農家のご協力のもと関係機関と連携をより一層深め、充実した事業として継続してまいります。

本町の新たな担い手となつて頂きたく発足しました「わっさむ担い隊」は、昨年8月、

2名のかたをお迎えし、これまで農業体験やコミュニケーション活動を通して、気候・風土に触れられ、本町に対する理解を深めて頂いているところであります。お二人の思いが本町定住という形で結実できますよう、担い隊をサポートする集落支援員とも連携を図りながら、支援してまいります。と考えております。



土地改良事業

土地改良事業関係でありませんが、基盤整備は農業経営の安定と生産性の向上を図るうえで欠くことの出来ない事業であり、本町においては、和寒北地区など継続5地区で、4億8千455万6千円の事業費となり、暗渠、客土、用水路整備等の工事が実施される見込みで、平成22年度で時限となる第3期農地パワーアップ事業については、今のところ継続されるとの情報を得

ているところであります。昨年同様の負担率で予算を計上したところであります。なお、道営土地改良事業などの執行のため、平成10年から設置している土地改良事業所につきましても、継続5地区全てで調査設計が終了しており、今後の主な業務が施工管理と負担金徴収であることから、土地連職員の派遣は継続しますが、今年3月をもって廃止し産業振興課に配属することと致しました。

畜産関係

畜産関係では、三和牧場について、関係団体の皆さんと協議した結果、入牧頭数が年々減少しているとともに、牧場管理人の確保が困難なことから用途廃止とし、町内の乳牛及び肉牛は土別市の大和牧場に入牧して頂くこととしましたが、三和牧場の利用料と差異があることから、その差額分について助成することといたしました。

なお、森林管理署から賃貸借している牧場用地につきましても、費用対効果の面から判断し、町が購入のうえ町有林として整備をする方向で協議を進めているところであります。

林業関係

林業関係につきましても、朝日の未立木地にカラマツ2

・5ヘクタールを造林することとし、下刈・除間伐作業などを今後も計画的に実施するとともに、昨年からの2力年の計画で実施しております基幹作業道東和線開設工事は本年残り900メートルの工事を実施してまいります。

農作物被害防止対策
有害鳥獣による農作物被害防止対策につきましては、昨年、町有害鳥獣対策連絡協議会を設置して、アライグマ防除従事者講習会やエゾシカ対策出前教室などを開催しており、狩猟者だけに頼らない、農家自らが自分の農地を守る捕獲方法の周知を図っていくとともに、猟友会のご協力を頂き駆除に取り組んでまいります。

新エネルギー関係
新エネルギー関係では、「環境」をテーマにした「わっさむエネルギー・環境展」を開催して、豊かな自然を次世代に引き継ぐとともに、環境にやさしいまちづくりを推進するため、二酸化炭素削減の取り組みの普及・啓発に努めるほか、本町にとって最も相応しい木質バイオマスエネルギーの事業化に向けて、合意形成を図りながら関係機関との調整を進めてまいります。

農林業関係の主な事業

農業委員会費 4,480千円

担い手推進事業

(農村生活体験事業、担い手推進協議会補助)
農地流動化活動事業

農業振興費 223,913千円

後継者育成振興奨励事業

(担い手育成モデル事業、認定農業者農地利用集積支援事業、新規就農対策事業補助、担い手研修等報償)

わっさむ農村元気づくり支援事業【新規】

畑作振興対策

稲作振興対策

農家経営安定対策

(各種農業制度関連資金利子補給補助、平成16年度台風被害支援利子補給、平成21年度冷湿害被害支援利子補給、平成22年度高温多雨被害支援利子補給【新規】)

農地・水・環境保全向上対策事業

経営体育成支援事業

中山間地域等直接支払事業

経営構造対策費 45,016千円

農業活性化センター運営費

(活性化センター運営費、**格納庫屋根補修【新規】**)

担い手対策

特産物振興対策

土づくり対策

畜産費 2,604千円

畜産振興対策

(酪農ヘルパー事業、草地改良事業補助、受精卵移植事業補助)

牧場放牧料助成事業【新規】

農家経営安定対策

土地改良費 86,557千円

道営事業

(和寒中央地区地域水田農業支援緊急整備事業、和寒北地区経営体育成基盤整備事業、第1幹線地区新農業水利システム保全整備事業、西和地区ため池等整備事業、剣和幹線地区基幹水利ストックマネジメント事業)

国営造成施設管理体制整備促進事業

林業振興費 22,439千円

新エネルギー導入推進事業【新規】

林業振興事業

(21世紀北の森づくり推進事業補助、除間伐事業補助、基幹作業道東和線開設事業)

有害鳥獣被害対策事業

(有害鳥獣捕獲奨励補助、有害鳥獣対策連絡協議会補助)

町有林管理費 10,072千円

町民植樹祭

町有林整備事業



商工観光関係

雇用対策

次に商工関係ですが、地域経済の落ち込みで、近年、商店や工場の閉鎖などにより、雇用環境も依然として厳しい状況となっておりますことから、本年も町単独で実施しています「特別雇用対策事業」と国の制度を利用した「緊急雇用創出事業」を実施して雇用環境の改善を図ってまいります。

空き地・空き店舗対策

商店の閉店により大通り商店街の状況は大きく様変わりしておりますが、空き地・空き店舗の多くは個人所有のため、一つの対策を講ずるにも権利調整等が難しいことから、商工会と連携を強めながら、望ましい対策について充分検討してまいります。

観光関係

観光関係では、観光協会が中心となり、各種イベントを計画・開催して頂いておりますが、内容に工夫を凝らし、都市部への積極的な宣伝が功を奏して、「どんとこい夏祭り」や「極寒フェスティバル」などは町外からの入り込み客が増えておりますので、今後も皆さんに喜んで頂けるよう協力してまいります。

塩狩峠周辺整備
 本町の玄関口である塩狩峠周辺の環境整備については、塩狩峠一目千本桜の他、春・夏・秋を通して彩りを楽しめる空間の形成と塩狩峠記念館との連携を図るため、花の植栽や紅葉を楽しめる苗木の植樹、記念館周辺の整備などを実施することとしたところで



また、全日本モトクロス選手権につきまして、いままでも大会の運営などにご尽力いただいた「斉藤敏弘様」が残念ながら昨年末にお亡くなりなされたところであり、ご冥福をお祈り申しあげさせて頂き、今年もコース整備や競技役員確保の問題などから開催を危ぶむ声がありましたが、20回の節目の年を迎えることから、MFJ北海道及び和寒町運営委員会他関係団体と協議した結果、開催する方向としたところであります。

商工観光関係の主な事業

商工業振興費 26,683千円
 商工会運営に対する補助
 商業振興協同組合補助
 商工業新規就業対策補助
 中小企業補償融資保証料及び利子補給補助
 商工業活性化融資利子補給補助
 中小企業経営安定化利子補給補助
 地場産業開発研究補助
 特別雇用対策事業
 緊急雇用創出推進事業

観光費 14,080千円
 全日本モトクロス選手権大会負担金
 各種モータースポーツ大会補助
 どんとこい！わっさむ夏まつり負担金
 観光協会補助
塩狩峠周辺環境整備事業【新規】
 全日本玉入れ協会補助

インター出口歓迎看板設置事業【新規】

公園費 36,499千円
 三笠山自然公園・東山スキー場指定管理
 南丘森林公園運営管理
 塩狩峠記念館運営管理
 南丘森林公園整備

(排水ポンプ・送風機更新)【新規】



保健福祉関係

保健福祉関係

平成22年における出生数は、23名で前年対比2名の減となっており、65歳以上の人口では、1月末現在1千499名を数え、高齢化率は38.5%と、前年対比0.1%の伸びとなったところであり、少子高齢化が進行する中、高齢社会に対応した互助による地域づくりが求められることから、日常生活に不安を感じている高齢者世帯の見守り対策として関係機関とネットワークを構築し、「緊急医療情報キット・命のカプセル」配布事業を実施して町民の皆さまが健康で安心した生活を日々送って頂けるよう努めてまいります。

子育て支援関係

昨年4月から開館いたしました「子育て支援センターこども館」はそれまで分散していた機能が集約されたことから利用者が大幅に増加しており、「放課後児童育成事業」には多くの子ども達が登録し活発に利用し、「子育てサロン」では子ども連れのお母さんなどが集い新しい交流の場となっており、「こども館」を気軽に利用し、安心して子育てができる環境づくりに力

保育所関係



を發揮していることから、時代を担う子どもたちが健やかに成長していただくために引き続き事業内容を充実し、その管理運営に努めてまいります。

平成22年度において子育て世代の保育支援充実のため、ゼロ歳児保育室の設置や保育所と子ども館の連絡通路を設置し、こども館利用の親子さんが見学できるなど連携強化を図りましたので、今後もその特色を生かした交流事業を計画してまいります。更に平成23年度においては既に補正により予算措置済みでありますので、年度内に工事発注を予定しております季節保育所の解体、グラウンド整備、屋外複合遊具設置など、周辺環境整備に努め、子どもたちが健やかに遊び育ち、情操豊かな心を育む

児童の育成に努めるとともに、ゼロ歳児保育に向けて受け入れ体制に万全を期すとともに、一時保育事業では、現在まで延べ43名の利用となっており、引き続き引き続き保護者のかたがたの短期就労、緊急、リフレッシュなどの場合に利用できる子育て支援策として事業を継続してまいります。

保健関係

保健関係では、健康で安心して生活が送れるよう、積極的に疾病予防に努め、早期発見時の治療につながるよう各種健診事業の推進を図っているところであり、「特定健診・特定保健指導実施事業」の充実を図ることは勿論のこと、町民のかたがたが安心して気軽に健診を受診できるように、配慮してまいります。

また、国の補正予算事業として平成22年度から実施をしております子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業は、子育て支援対策として本年度も全額を助成することとし、あわせて町の拡充策としておたふくかぜ、水痘についても無料、妊婦健診料助成事業についても1回あたり1万円の上限額を撤廃、更に乳幼児等医療費助成につきましては、小学6年生まで入院・通院とも全額助成の対象とするべく各

例の一部改正を提案したところであり、平成21年度から、国の補助事業に町単独事業を合わせ、実施をしております女性特有のがん検診無料化事業につきましては、受診数の増加を期待し、がんの早期発見・治療につながるよう、平成23年度も継続して実施をしております。



保健福祉関係の主な事業

高齢者等福祉 178,374千円

- 高齢者共同福祉住宅運営費
- 道北バス利用者運賃助成
- 高齢者事業団育成事業
- 老人クラブ連合会補助事業
- 寝たきり老人等介護手当
- 認知症老人介護手当
- 緊急通報装置設置
- 在宅福祉事業委託
- ふれ愛住宅補助
- 長寿祝金
- 訪問介護サービス自己負担金軽減補助

高齢者安心生活推進事業【新規】

- 介護保険特別会計繰出金
- 後期高齢者医療療養給付費負担金
- 後期高齢者医療特別会計繰出金
- 高齢者健康診査業務委託

障がい福祉 105,943千円

- 地域生活支援事業委託
- 重度障がい者ハイヤー料金補助
- 社会福祉施設等通園費補助
- 身体障がい者補装具補助
- 地域生活支援事業日常生活用具給付
- 重度心身障がい者等医療費給付
- 障がい者自立支援給付費
- 精神障がい者医療費給付
- 障がい者自立支援医療費

児童福祉 127,123千円

- 常設保育所運営
- 子育て支援センター運営
- 子ども手当
- 医療給付費
- 一時保育事業
- 遺児手当
- 障がい者自立支援給付費
- 心身障がい児こども通園施設運営負担

その他の福祉 75,114千円

- 福祉団体補助
- 社会福祉協議会運営補助
- 国民健康保険特別会計繰出金

保健の向上、維持増進 208,641千円

- 母子保健事業
- 歯科保健事業
- 成人保健事業
- 予防接種
- (三種混合、麻しん風しん混合、ポリオ、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌【新規】、おたふくかぜ、水痘)
- 上川北部地域第2次救急医療事業
- ヘルシーライフ普及啓発
- 組織育成
- 保健福祉センター運営
- 訪問看護事業
- 町立病院事業会計繰出金

住民関係

お客さま窓口

これまで役場庁舎の窓口業務は、担当毎に設置され、複数の用件を一度に済ますことが出来ないなどのご不便をお掛けしてはりましたが、一ヶ所で済ますことが出来るよう、横断的に業務を見直し、ワン・ストップ・サービスを推進するため、本年4月からお客さま窓口を開設し、町民の目線にたったサービスの向上を図ってまいります。



衛生関係

ごみ処理につきましては、町民の皆さんにご理解とご協力をいただきながら分別リサイクルの推進に努めているところでありますが、引き続き、循環型社会を目指して、ゴミの排出抑制や再利用の徹

底と啓蒙普及に努めてまいります。

士別市・剣淵町の1市2町で運営しております広域生ごみ処理場は、士別市において、新たな生ごみ処理場の建設を計画されていることから、2町での運営に備えるべく、経費の見直しを図り、適正な運営に努めてまいります。

また、元気なまちづくりの一環として推進してまいりました「美しいまちづくり」事業につきましては、これまで町内で取り組まれていた各団体や自治会などの先進的な環境美化活動の実態・実績を広報紙で紹介してまいりましたが、平成23年度は、具体的な実践活動に対する支援を行います。町民の皆さまとともに美しいまちづくりを進めてまいります。



住民関係の主な事業

環境衛生費 130,674千円

保養センター管理運営

葬斎場・墓地管理運営

中和墓地無縁塔等改修工事【新規】

衛生害虫駆除補助

水質保全事業補助

美しいまちづくり推進事業【新規】

簡易水道事業特別会計繰出金

公共下水道事業特別会計繰出金

清掃総務費 26,589千円

公衆トイレ清掃管理

リサイクルセンター管理運営及び資源ごみ収集業務委託

し尿収集及び処理業務委託事業

資源ごみ広域処理場管理運営

塵芥処理費 37,195千円

一般廃棄物埋立処分場管理運営及びごみ収集業務委託

広域生ごみ処理場管理運営



建設関係

道路整備

市街地区で進めております町道バリアフリー化推進事業は、「2号道路」、「西3条通り」、「運動公園通り」の3路線を継続事業とし、新たに「日の出道路」、「2条通り」、「南1条通り」、「北3条通り」の4路線を交通弱者に配慮した安全・安心な歩道を整備するとともに、町道改修整備事業では、長年にわたり交通安全の確保のため地域からご要望を頂いておりました「7号道路」改良工事について、平成23年度より交付金事業により着手し、また、地域活性化交付金（きめ細かな交付金）事業の「駅裏通り」改修工事につきましては、繰越明許費として早期発注に努めてまいります。

河川整備

異常気象と言われている昨年のゲリラ豪雨により、土砂の埋そくなどの被害が発生した大成地区の「大成小川」について、線形の改善と断面修正による河川改修事業を行い災害に強い河川となるよう整備を図り、地域のかたがたの安全・安心に努めてまいります。

除雪関係

除雪関係につきましては、全面委託で除排雪作業を進めているところであり、住民のかたがたには除雪にご苦労の多いことと思いますが、冬期間の安全を守るため、きめ細かな除排雪作業を行い日常生活に支障を来さぬよう努めてまいります。

住宅防災と地域住宅利用

防災対策促進支援事業として既存木造住宅の耐震改修について昨年に引き続き促進に努めてまいります。地域に所在する元教員住宅については、利用者への貸付基準など明確でない部分もありましたので中和地区を始め5地区19棟21戸を公営住宅と同様に利用していただくよう条例を整備したところであります。

公営住宅関係

平成23年度から10年間の公営住宅の長期的維持管理運営等、その指針を定めた「和寒町公営住宅等長寿命化計画」につきまして、これまで議会産業教育常任委員会の所管事務調査事項として検討頂きましたが、この度、上川総合振興局との協議を終了しましたので、今定例会に計画案を上げましたところであります。

旭川建設管理部所管事業

道道和寒幌加内線につきましては、計画全体延長1千7

00メートルを3年計画で実施する予定で、平成23年度は三和牧場道路から佐々木地先の約550メートルを着工予定としており、福原入口辺乙部川に架かる「辺乙部橋」の早期完成と、道道和寒鷹栖線の未着手区間である17線から19線までの改良について、引き続き要望してまいります。

1級河川改修事業のうち剣淵川については、暫定断面により改修を進めているところであり、平成23年度は18線道路「花月橋」から上流約250メートルの河道掘削・護岸・築堤の造成を進める予定とお聞きしており、大成の6線川改修につきましては、国道40号に架かる「和寒橋」から平成22年度施行「4号橋」までの河道掘削・護岸・築堤の造成を計画されておりま

建設関係の主な事業

道路維持費・新設改良費 474,706千円

町道除排雪事業

町道維持管理事業

町道バリアフリー化

- ・ 2号道路：三笠地域センター～万世橋
- ・ 西3条通り：西町南1丁目通り～道々和寒幌加内線
- ・ 運動公園通り：南5丁目通り～17線道路
- ・ 日の出道路：道々和寒幌加内線～北3丁目通り【新規】
- ・ 2条通り：道々幌加内線～北3丁目通り【新規】
- ・ 南1条通り：南4丁目通り～南6丁目通り【新規】
- ・ 北3条通り：道々幌加内線～北2丁目通り【新規】

町道改良事業

- ・ 7号道路：20線道路～中和川【新規】

町道路路面改修工事

- ・ 5号道路：17線道路～18線道路
- ・ 16線道路：4号道路～8号道路(5号～6号施工済)
- ・ 20線道路：国道40号～2号道路【新規】

六線川橋梁(瑞穂橋)架替事業負担金【新規】

住宅管理費 17,726千円

公営住宅整備事業(公営住宅等営繕、屋根塗装改修7棟26戸、公営住宅用途廃止1棟4戸【新規】)

防災対策促進支援事業(耐震診断・耐震改修補助)

総務関係

第5次総合計画

冒頭でも述べさせて頂きましたが、町民意向調査やワークショップ、町政懇談会などで、多くの町民の皆さんの参加と協力を得るとともに、議会総合計画調査特別委員会においてもご検討を頂き、総合計画審議会において審議を重ねてきた第5次総合計画案について、去る2月15日に答申を頂きましたので本定例会に上程させて頂いたところであります。ご協力頂いた町民各位並びに審議会の各委員のご努力に対し、お礼と感謝を申しあげます。

自治会について

自治会制度につきましては、発足から3年が経過し、各自自治会において地域に根ざした生活環境の整備や、住民の交流など各種の活動を行って頂いており、協働の精神が培われるとともに、地域の核として自治会が担う役割は大きくなっております。今後防災や高齢者を守る活動などが重要となつてまいりますので、自治会と行政が協力して、地域住民が安心して生活ができる社会の実現に取り組んでまいります。



ホームページ更新

自治基本条例に基づき、町民のまちづくりへの参画を支援するため、情報の発信に努力するとともに、情報の共有化を図ることが重要でありますので、新年度においてホームページの更新を行うこととしており、町内外の多くのかたにアクセスしていただけるよう努めてまいります。

札幌にラジオでPR

昨年10月、札幌三角山ラジオ放送局に協力いただき、和寒のPR活動を行ってきたところであり、新年度からは1回ペースで農産物やイベント、観光などの情報を発信し、ラジオ受信地域となっている札幌西区地域の皆さんに、和寒町についてより深く理解をしていただくようPRするとともに、交流の輪を

広げる活動を支援してまいります。

地上デジタル放送

アナログ放送が本年7月をもって終了となることから、これまで各地域の共同受信施設の整備を進めるとともに、各家庭での地デジ対応テレビやチューナーの準備に関するお知らせや、受信が悪い場合のご連絡を頂くよう、広報誌や機器の展示会を通じて周知を図ってきたところでありますが、期限が迫り問い合わせが増加するものと思われ、前までにデジタル放送の受信確認を行うなど、周知活動等万全を期してまいります。

生活安全

生活安全の推進についてありますが、まず交通安全運動につきましては、町民の皆さんの協力により、本町の「交通事故死ゼロ」が、まもなく800日を迎えようとしており、引き続き関係機関と協力して運動を推進してまい





ります。また、大きな事件の発生はみれておりませんが、防犯についての日常的な呼びかけや情報提供などをしっかりと連携して行うとともに、日頃から地域の災害対策について自治会と協議を深めながら、今月設置完了となる全国瞬時警報システムも含め、緊急時の体制の整備に努めてまいります。

総務関係の主な事業

一般管理費 28,206千円

総合健診事業
総合行政情報システム推進事業
総合行政情報システム備品購入事業
現行法令インターネット接続

文書広報費 4,200千円
ホームページ再構築【新規】

財産管理費
お客さま窓口開設【新規】

企画費 5,094千円
ふるさと会報償
交流施設管理業務
パートナーシップ推進事業【新規】
空き住宅等調査委託
わっさむふるさと交流委員会負担金
移住体験事業負担金

交通対策事業費 8,893千円
町営バス運行業務委託事業
地域公共交通検討事業

諸費 30,585千円

自治会関係
地上デジタル難視聴解消事業
省エネルギー促進支援事業（2年間延長）
開拓先人守護の塔改修工事【新規】
生活安全推進会議
交通安全指導員報酬
担い手結婚祝金
防災無線関係
公用車デイライト推進事業【新規】
交通安全啓発事業

選挙費 8,562千円
知事・道議会議員選挙
町議会議員選挙【新規】
農業委員会委員選挙【新規】

統計調査費 333千円
経済センサス調査

その他 1,052千円
にれっこ祝金
公的個人認証サービス機器【新規】



歳入

町税

個人町民税につきましては、現在確定申告の期間中で、所得の取りまとめを行っておりますが、昨年の天候不順によります農業所得の減収が見込まれ、平成22年度と比較して0.5%の減収を見込んでおります。

法人町民税は、所得割の増収、固定資産税は、償却資産の増収、軽自動車税は、台数増による増収、たばこ税は、禁煙者の増加傾向と昨年の価格改正による動向から、平成22年度並みを見込み、町税全体では、対前年比0.5%、132万4千円の増で見込んでおります。納税者の立場に立つて、「公平・透明・納得」の三原則のもと、住民の信頼を得られる税務行政に努めてまいります。

国民健康保険特別会計

国民健康保険事業につきましては、高齢化が進む中、今後も医療費の増大が見込まれ、厳しい事業運営が予想されることから、保健事業の特定健康診査の個人負担分を前年同様無料化するなど、疾病

の早期発見・早期治療に努め、医療費の適正化を図るとともに、収納率の向上対策や国保会計の運営状況の周知に努め、安定的な運営に努めてまいります。

後期高齢者医療特別会計

平成20年度から高齢者の医療保険として後期高齢者医療制度が創設されましたが、国は新たな制度に移行する方針を示しており、住民の皆さんが安心して移行できるような確かな情報収集に努め、十分な周知を図ってまいります。

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業については、安全な水を安定的に供給することが第一の使命であり、水質の保全と水源の管理に十分に配慮をいたし、美味しい水を安心して利用いただけるよう努めているところであり、本年度においては一層の水質の安定を図るべく東丘・三和両浄水場の濾過砂の入替及び適正な管理に備える目的で水道管網図整備事業を実施してまいります。

公共下水道事業特別会計

公共下水道事業につきましては、1千241戸でご利用頂いておりますが、供用開始後22年が経過していることから管渠・下水終末処理場について計画的に改修する必要がありますと生じているところであり、一日たりとも休む事が許されない施設でありますので、下水終末処理場更新に係わる機能基礎診断調査及び下水道管網図整備を実施してまいります。なお、両事業とも事業推進上、認可変更が必要となりますことから、今定例会において条例改正するべく提案しているところであります。



介護保険特別会計

介護保険事業 介護保険特別会計では、現在の被保険者は1千477名で、対前年比25名の減となり、要支援・要介護の認定者は260名で7名の減となったところであり、居宅サービス利用者につきましては、訪問系サービスの減少に比べ、通所系サービスでは、わずかながら増加傾向にあります。現在、町民のかたで特養などの介護施設入所者が80名、また、認知症高齢者のグループホーム入所者は13名あり、その実績を踏まえ、更には今後の利用者の動向や推移なども勘案し、必要経費を予算計上したところであります。

なお、高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画は、3年ごとにその内容等を見直すこととなっており、平成23年度はその年にあたることから、国から示される制度の改正内容等を踏まえ、被保険者に対し、介護サービスを受けるにあたっての意向調査などを実施し、事業の進捗状況、サービス環境などの調査・分析などについて、介護・保健・福祉対策検討委員会の委員さんがたにご審議を頂きながら、事業計画の策定を進めて

まいります。

芳生苑・健康苑関係

社会福祉協議会が指定管理者として運営管理を行っております芳生苑・健康苑につきましては、平成22年度において芳生苑外壁塗装工事と消防設備設置工事を実施したところでありますが、平成22年度をもって職員の派遣期間が終了しますことから、社会福祉協議会と連携を深め、今後につきましても、入所のかたがたに快適に過ごしていただくとともに、ご家族が安心できる施設づくりを目指すなど、適切な運営並びにサービスの充実、向上に努めてまいります。



町立病院事業特別会計

町立病院事業について申し上げます。

昨年6月から実施してまいりました増築改修工事は、工程通り順調に進捗し、2月21日で全工事が完了いたしました。この間、ご不便やご迷惑をおかけしては申し訳ありませんが、見違えるよう改善され、来院される患者のかたがたやご家族から一定の評価をいただいております。これらに慢心することなく医療サービスの向上のため努力してまいります。

改修と並行し昨年9月末に導入しました電子カルテシステムや画像管理システムについても、医師をはじめ医療スタッフの操作性も向上し、患者情報の一元化によるスムーズな診療体制や在庫薬剤の適正管理など、そのメリットが徐々に浸透してきているところであります。平成23年度においてはエックス線一般撮影装置など医療機器の更新を図りながら、ハード、ソフト両面でその機能を最大限に活用し、



特別会計関係

国民健康保険特別会計	593,700千円	後期高齢者医療特別会計	50,700千円
簡易水道事業特別会計	74,130千円	介護保険特別会計	488,990千円
水道管網図整備事業【新規】		国民健康保険町立病院事業特別会計	504,205千円
公共下水道事業特別会計	142,980千円	工業費用【新規】(遠隔読影業務委託)	
下水道管網図整備事業【新規】		建設改良費【新規】(医療機器整備)	
下水道終末処理場長寿命化計画基礎調査委託事業【新規】			

平成22年度繰越明許費関係

平成22年度繰越明許費	87,307千円	消費生活行政広域連携事業【新規】	3月補正
役場庁舎・町民センター等耐震診断事業【新規】	12月補正	橋梁点検事業【新規】	3月補正
三笠南自治会館改修事業【新規】	3月補正	町道整備事業【新規】	3月補正
西町町民センター外壁等改修事業【新規】	3月補正	学校図書整備事業【新規】	3月補正
保育所周辺環境整備事業【新規】	3月補正	ハイブリッド車購入事業【新規】	3月補正
不良排水路改修事業【新規】	3月補正		

：国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金 ：国の地域活性化・住民生活に光を注ぐ交付金

平成22年度の繰越明許費として、平成23年度の実施となります。

繰越明許費とは：性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みについて、予算議決を経て翌年度に繰り越して使用することのできる経費

初期治療や初期救急、予防や健診など、町民皆さんの医療機関として、その役割をしっかりと果たしてまいります。

教育関係につきましては、後ほど教育長が執行方針で述べますが、3力年にわたり進めてまいりました和寒小学校の改修工事も終了し、新しい環境で子ども達も楽しく元気に学校生活を送っているところであり、中学校につきましても1月17日第3学期始業時に旧和寒高校へ移転を終え、生徒や先生も新たな校舎での勉強やクラブ活動等に大きな期待を持ってスタートしたところであり、今後も安全で安心な教育環境の整備に努めるとともに、松岡の旧校舎の跡地活用につきましては、和寒中学校跡地利用検討委員会を設置し多岐にわたりご意見をお聞きしながら検討を進めているところであり、出来るだけ早く方向性を見いだしていきたいと思っております。

以上、平成23年度の町政執行に臨む所信の一端を述べて頂きましたが、私は、平成18年、町長就任以来、第4次総合計画と第3次行政改革を両輪として、自治会制度への移行や、自治基本条例制定、小学校改革、中学校移転、町立病院の改修と経営改善、子育て支援対策の推進、産業振興対策の推進などのほか、指定管理者制度の導入や使用料手数料の改定などに取り組みでまいりました。

平成23年度からは、第5次総合計画を町政の指針として、町民参画の協働のまちづくりを推進し、安心して子どもを育て、暮らしつつげられるまちづくりを目指し、担い手対策や地域資源を活用した産業の創出などに全力を挙げ取り組んでまいり所存であります。

あわせて、ワン・ストップ・サービスの推進や必要に応じた行政組織の見直し、情報の発信力の強化と共有化の推進など、各事務事業と行政システムが機能的にその役割を果たすことができるよう点検を行い、工夫と改善を図るための行政の効果的・効率的な運営方針を新たに策定し、町民の期待と要望に応えられるよう鋭意努力してまいります。

今後「人の和ひるがる恵みの大地わっさむ」をまちづくりのテーマに掲げ、職員一丸となつて、元気なまちづくりのため最大限の努力をしてまいりますので、町民の皆さん並びに議員の皆さんの一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



注 ワン・ストップ・サービス
窓口にこられたかたが、用件ごとに別な窓口に行かなければならない状態から、一カ所の窓口で多くの用事を済ませることが出来る体制